

協働型災害ボランティアセンター

国、地方公共団体との災害出動における包括的な協定の実現！
全国的な防災NPO中間支援組織の設立



基金訓練



コミュニティ放送局
インターネット放送局

ストリーミング配信

電波放送

オンデマンド配信

ボランティアが活躍 できる仕組み

災害時に貢献したいと考えている市民は70%以上といわれている。一人ひとりが活躍できる場の創出を企画する。

コミュニティ活動支援 ファンドの造成

地域の志あるお金によって造成されたファンドに防災、減災支援部門を創設
寄付、投資のプラットフォーム
中小零細企業への支援
資金循環の仕組み

支援物資仕分け配布の コーディネート

災害時の義援物資及び平時における支援物資の受け入れ、及び配分
この部分は訓練を要する

静岡をモデルに全国数か所に設置

人材育成

厚生労働省「基金訓練」(NPO地域コーディネーター養成科)を基礎講座と位置付ける。卒業生がボランティアのリーダーとして活動する。
NPO災害支援コーディネーター養成科では、防災、減災に焦点をおいた専門講座と位置付ける。(フィールドでの訓練)災害発生時には、NPO地域コーディネーターのリーダーとして、連絡、調整係として活動する。

献身的な取り組み

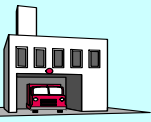
を効果的に運用できるネットワークの形成。以下例
★市民防災ヘリコプターチームによる情報収集
★災害弱者(要援護者に該当しない各種疾患のある人)対策
★心のケア
★セラピー犬の活用
★2週間の炊き出しメニューによる炊き出し支援
★帰宅困難者対策
★防災マップ
★ICT、GPSの利活用

災害救助犬/防災士による緊急出動



他の主体との連携・協働

行政(国、地方公共団体、消防自衛隊、社協等)
企業・商工団体
地縁組織(自治会、民生委員)
商店街
労働組合
生協
農協・漁協など



災害時の機能

NPO支援センター
情報収集、ボランティア受け入れ
救援チーム出動、後方支援
他の主体との連絡、調整
ファンドからの資金助成

平常時の機能

人材育成
中間支援
市民団体の防災ネットワーク
他の主体との連絡、調整
ファンドからの資金助成
相談・カウンセリング(1人暮らし、疾患等)情報収集

市民キャビネット災害支援部会